化学のココロ。



個人投資家向け会社説明会

群栄化学工業株式会社

Gun Ei Chemical Industry Co., Ltd.

(証券コード: 4229 プライム市場)

本日のご説明内容



1. 会社概要

2. 当社の特徴

3. 成長戦略



会社概要



社名 : 群栄化学工業株式会社 (略称 **GC**)

本社所在地 : 群馬県 高崎市 宿大類町 700

代表者 : 代表取締役 社長執行役員 有田 喜一郎

設立 : 1946年1月23日 (創業 77年目)

上場区分 : 東京証券取引所 プライム市場

資本金 : 50億円

従業員数*: 505人(連結)/342人(単体)

売上高 : 294億6百万円(連結)

営業利益 : 24億89百万円(連結)



代表取締役 社長執行役員 有田 喜一郎



社是

節約・勤勉・合理主義

無駄を省き、理にかなった行動で、仕事をやりぬく

理念

化学の知識とアイデアでソリューションを提供し、 より豊かな未来社会創りに貢献する



GCIは、身近にある様々な産業分野に

化学品・食品の「機能性材料」を提供する

「素材メーカー」です

化学品





食品



何に使われてるの?



電子材料用樹脂



エンジン・建機の鋳型・ クラッチ版・ブレーキパッド



断熱材·防音材



GCI製品は、幅広い用途で使われています

成形材・コート剤



活性炭・炭素繊維 (LiB部材関連・耐火用途)



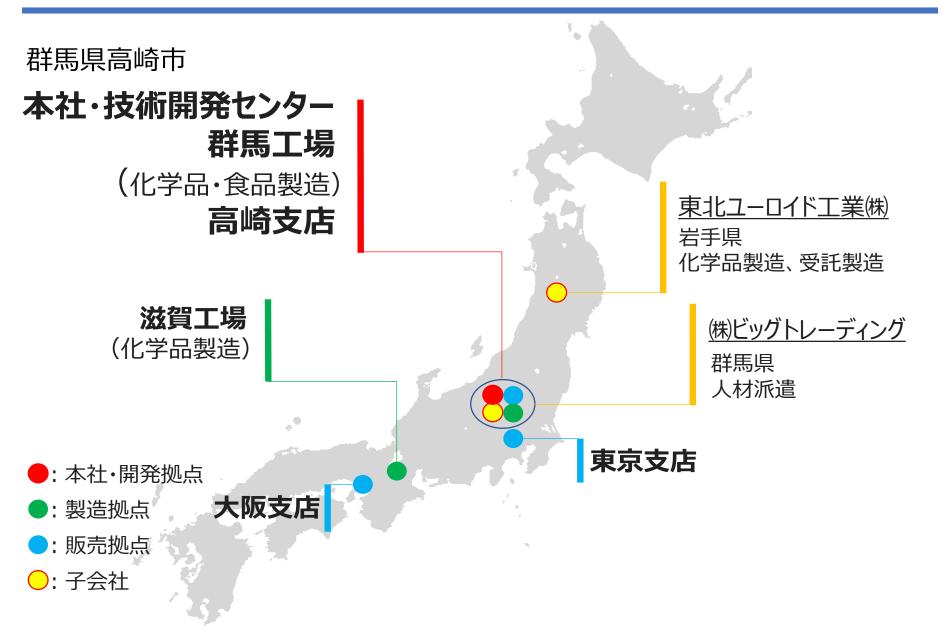
飲料(清涼系・新ジャンルビール系)・甘味料





GCIグループ 国内拠点





GCIグループ 海外拠点



グローバルに高品質な材料を

提案・供給できる環境を整備しております。



American GCI Resitop, Inc. (アメリカ・イリノイ州)

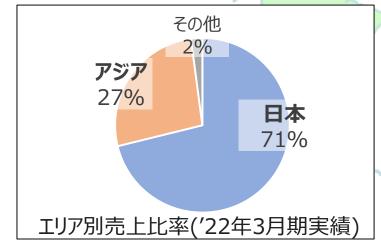
A-GCI

Thai GCI Resitop Company Limited (タイ・ラヨーン県)

India GCI Resitop Private Limited (インド・タミルナードゥ州)

●: 製造·販売子会社

: 販売子会社

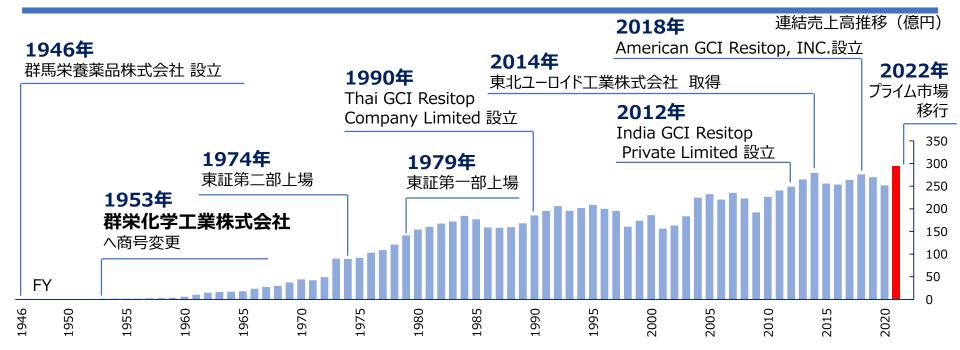




当社の特徴

沿革





1946年~

ぶどう糖 生産開始

1951年~

工業用フェノール樹脂 生産開始

1960年代~

鋳物用・塗料用樹脂などの販売で 自動車産業と共に業績拡大

1980年~ フォトレジスト用ノボラック樹脂 牛産開始

1982年~

高機能ノボロイド繊維「カイノール」生産開始

1990年~

タイGCI設立、グローバル展開開始

2000年~

穀物糖化液 生產開始

2010年~

電子材料分野を中心とした業績拡大

2018年~

高機能摩擦材用樹脂「ミレックス」事業買収 北米市場の拡大(アメリカンGCIの設立)

用途別売上高(セグメント)

筡



食品 (澱粉糖、穀物糖化液 等)

- 飲料、甘味 (清涼飲料、ビール系、菓子類)
- 穀物ミルク原料
- 化粧品原料

不動産活用業

環境材料 連結売上高 5% 294億円

> 工業材料 51%

83%

内側: 当社セグメント別売上高比率

外側:用途別売上高比率

化学品と食品の事業を併せ持つ ユニークな「素材メーカー」です。



- 食品 16%

2022年3月期

化学品



穀物ミルク原料

オーツミルクの素

高機能繊維

カイノール Copyright © 2022 Gun Ei Chemical Industry Co., Ltd.



化学品(フェノール樹脂 等)

- 電子材料
- 工業材料 (自動車・機械・住宅・成形材料 他)
- 環境材料(溶剤回収向けカイノール)

等

電子材料 27%



フォトレジスト用樹脂

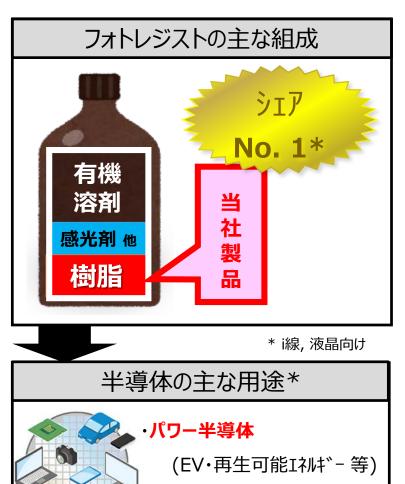
化学品事業(電子材料)

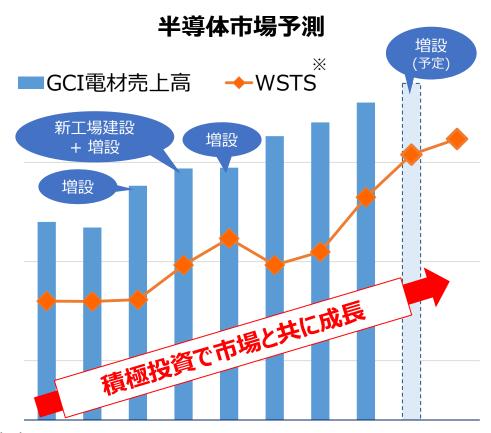
フォトレジスト用樹脂



フォトレジスト: 半導体、ディスプレイ製造に使用する薬剤。当社は1980年に日本で初めてフォト

レジスト用ノボラック樹脂を上市し、現在、<mark>グローバルシェアNo. 1</mark>(i-線, 液晶向け)。





(FY) 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023

※世界半導体市場統計

出所:「2022年春季半導体市場予測」より当社作成(2014年度:100)

・車載センサー、ディスプレイ

高機能繊維 「カイノール」



カイノール

: 一般名をノボロイド繊維と呼ぶ、繊維状フェノール樹脂。

世界で当社だけが製造する高機能繊維です。









■ 特徴

高い難燃性、断熱性

・均一な細孔径

• 疎水性

特定溶剤の**優れた吸脱着性能** (活性炭)

■ 用途

防護服、航空機座席の防火シート

<mark>LiB部材向け溶剤回収装置</mark> (活性炭)

環境負荷低減に寄与!

LiB主要4部材 世界市場規模推移



注1:メーカー出荷金額ベース

注2:2021年以降予測值(2021年5月現在)

出所:(株) 矢野経済研究所「リチウムイオン電池主要4部材

世界市場に関する調査(2021年)」より当社作成

穀物ミルク原料「オーツミルクの素」

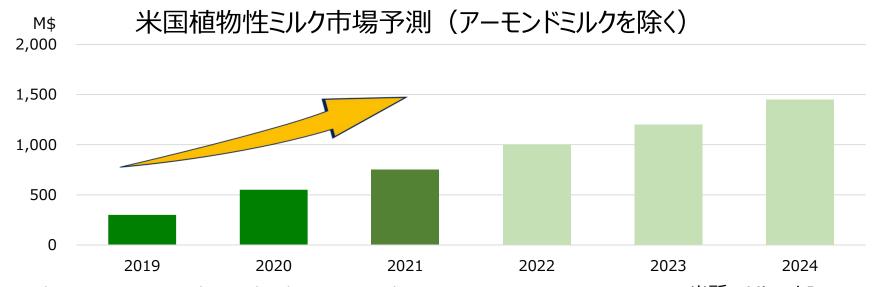




「オーツミルクの素」 使用製品特徴

- 豊富な食物繊維
- 風味豊かですっきりとした甘さ
- 豆乳などと比較しクセが少なく、コーヒーやカフェラテに最適
- ・ 牛乳と比較し温室効果ガスの排出量が少なく、 SDGsにも貢献

風味、味が評価されています。







GCI製品は、縁の下の力持ちとして

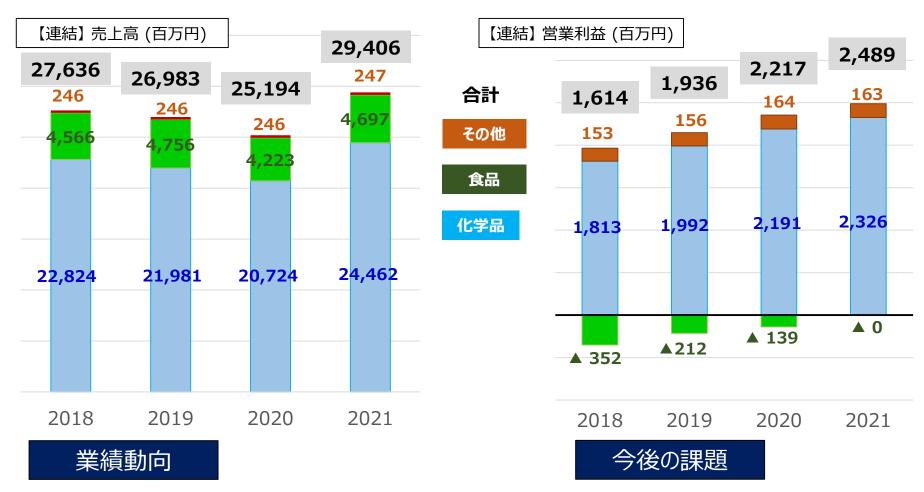
皆さんの身近で活躍しています



成長戦略

最近の業績推移





化学品:半導体需要の拡大を捉え、

電子材料が業績を牽引

食 品:生産性改善活動を行い、利益を改善



電子材料の更なる拡大と

次の収益の柱の創出

構造改革と高機能製品の拡販



長期ビジョン(ありたい姿)

合成・糖化技術の開発・再構築により グローバルにソリューションを提供し、社会の持続的成長に貢献できる "Green・Chemical・Industry(GCI)"となる



GCIグループ中期経営方針2024



基本方針

- 1. 新規事業創出のための基盤作り
- 2. サステナビリティを巡る課題への取り組み

3. 経営基盤の強化

4. 生産性向上、収益力強化

数値目標

財務目標	2021 年度 (実績)	2024 年度 (目標)
売上高	294 億円	350 億円
営業利益	25 億円	40 億円
営業利益率	8.5 %	11 %

非財務目標	2030 年度 (目標)		
CO ₂ 排出量 *	30 % 削減		

*Scope 1·2, 2013年度比

設備投資計画

55億円 (内、電子材料関連戦略投資:15億円)



社会的課題・ニーズ

デジタル化の加速



半導体など電子材料の需要増大

サステナビリティの追求



EVや省エネ・リサイクル製品の普及

健康への意識の高まり



植物由来製品の需要増大



GCIグループ保有技術・強み

電材(化学品事業)

フォトレジスト用樹脂の高いシェア 低メタル化技術 高い品質管理能力

環境材料(化学品事業)

高機能繊維カイノールの 唯一の製造メーカー 高度な硬化技術

食品事業

蓄積された糖化技術 充実した糖化設備 糖+化学の融合技術



高純度・ 先端材料 に展開強化



環境対応 ケミカル

に展開強化

高機能 糖ケミカル

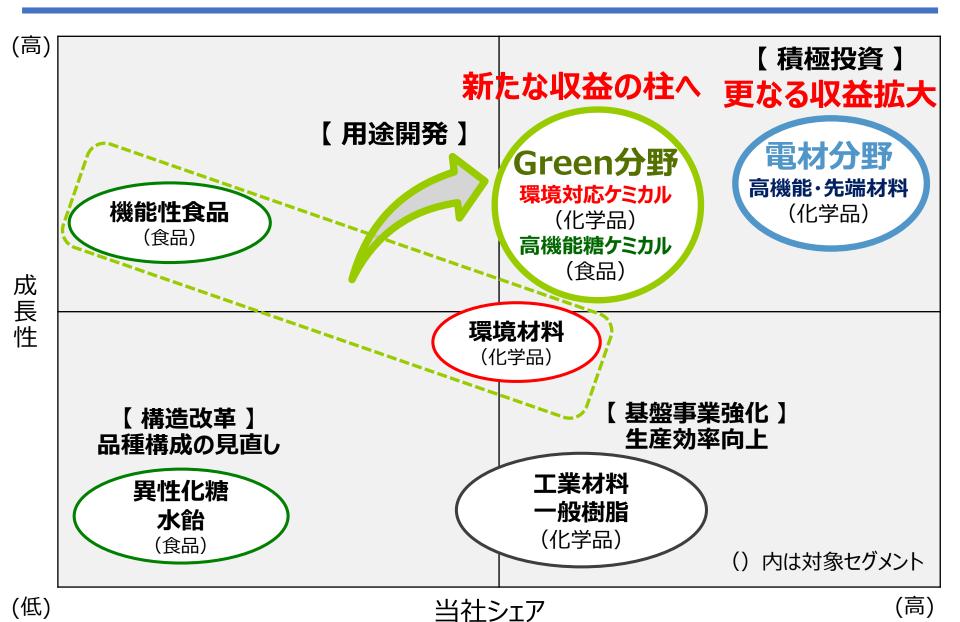
に展開強化

Green分野

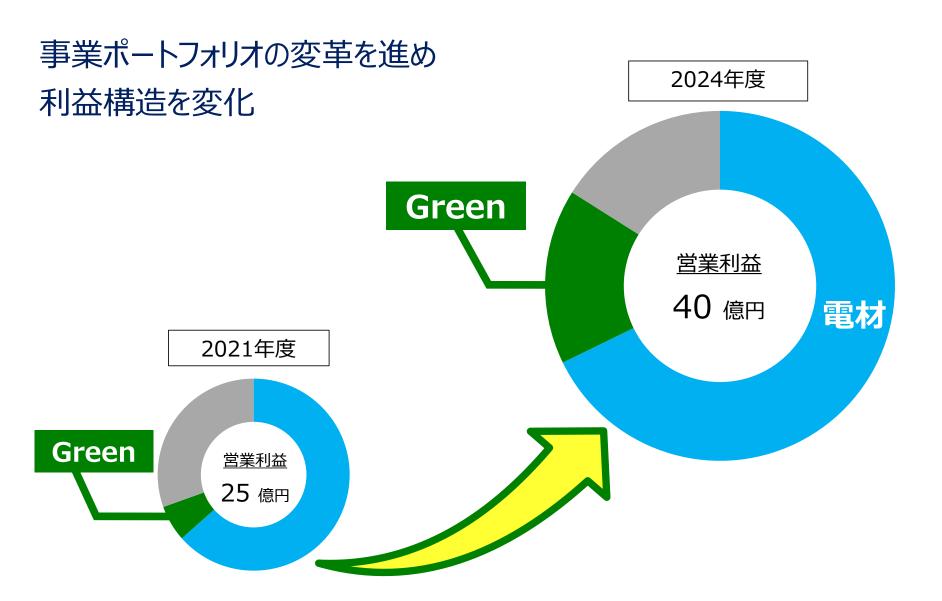


事業ポートフォリオの変革



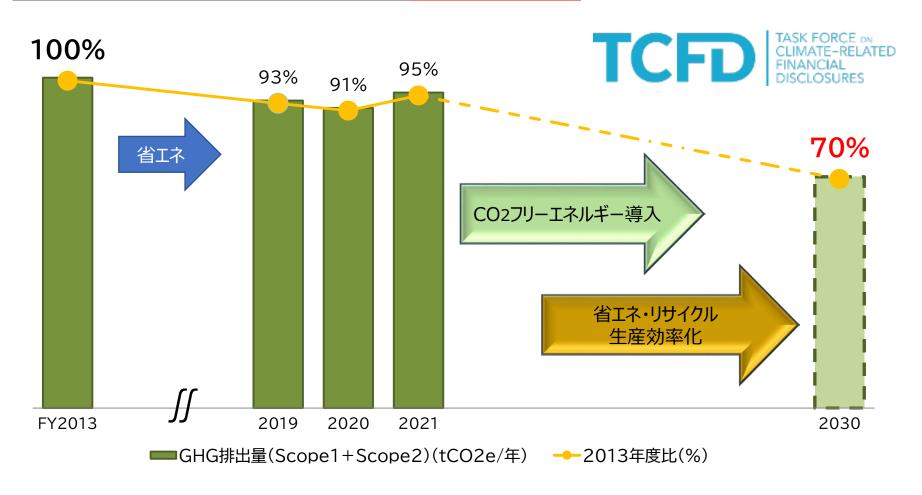








<u>中期経営方針におけるGHG排出量(Scope1+Scope2)削減目標</u> 2030年度までに基準年2013年比30%削減





【E】Environment 環境

事業そのもので環境負荷軽減に貢献!



- ➤ 電子材料 (フォトレジスト用樹脂)
- ・パワー半導体:EV、再生可能・省Iネルギー

(風力発電・太陽光、等)

- ・センサー:車載関連
- 環境材料 (カイノール)
- ・揮発性溶剤の回収・リサイクル
- ▶ 食品
- オーツミルク (プ ラントへ ースミルク)

etc



【E】Environment 環境













【S】Social 地域·社会

地方創生 SDGs 官**※**民連携 プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



【G】Governance ガバナンス



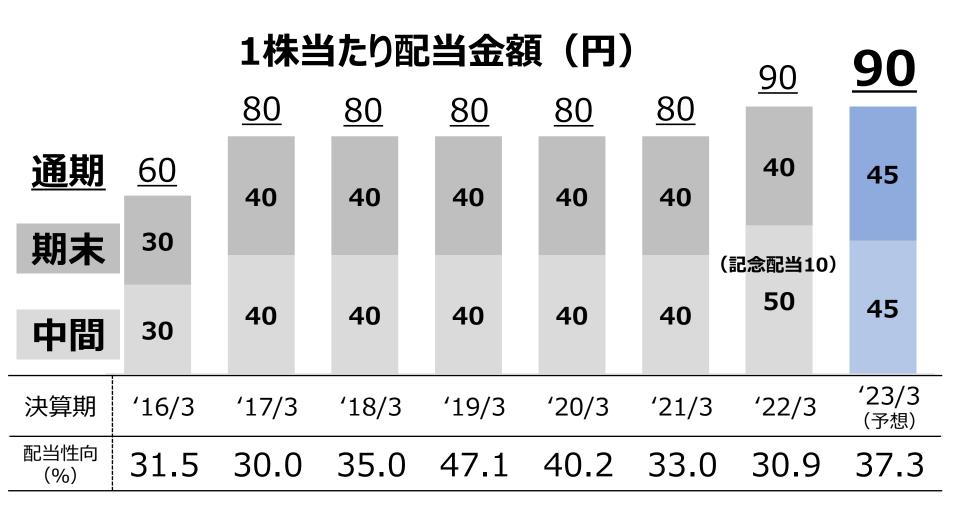


※1 全係長職における女性比率 ※2 全管理職における女性比率



1株当たりの配当の向上に努め、

配当性向 30% を目安に安定的な配当を目指してまいります。





Appendix

当社の用途と製品の特長について



	用途		製品・技術・特徴など	主なユーザー
,,	電子材料	電子材料	レジスト用ノボラック樹脂(トップシェア) 半導体周辺材料 高純度化技術 品質管理能力	レジストメーカー 半導体材料メーカー
化学品セ	自動車 各種機械	 工業	鋳物用バインダー 「a system」「β system」「NFURAN」 など	 鋳造メーカー ブレーキメーカー
化学品セグメント	住宅 成形材料 その他工業用途	材料	高機能摩擦材用樹脂 「ミレックス」 工業用フェノール樹脂 「レヂトップ」 ユーザー毎個別のカスタマイズ	断熱材メーカー 成形部品メーカー 塗料メーカー
	環境·溶剤回収 航空宇宙 難燃繊維	環境 材料	高機能繊維「カイノール」 真球状樹脂 フェノール樹脂繊維の特徴的性質	溶剤回収装置メーカー 航空機部品メーカー 防護服メーカー
食品セ	清涼飲料 菓子類		殿粉糖製品群(異性化糖 など) ピュアトース(マルトトリオース)	飲料メーカー 菓子メーカー
食品セグメント	ビール系飲料 穀物ミルク	食品	麦芽エキス製造技術 穀物糖化技術	飲料メーカー
<u> </u>	化粧品原料		糖誘導品 化粧品原料メー	

連結業績予想



化学品: 半導体、液晶向け及び溶剤回収向けが引続き好調を見込む。自動車産業向けは生産台数減

少の影響により上期は低調、下期からの回復を見込む。

食品: 飲料向けの数量に影響を及ぼす各種イベントの開催は不透明、前年並みを見込む。「オーツミル

クの素」数量増加見込み。

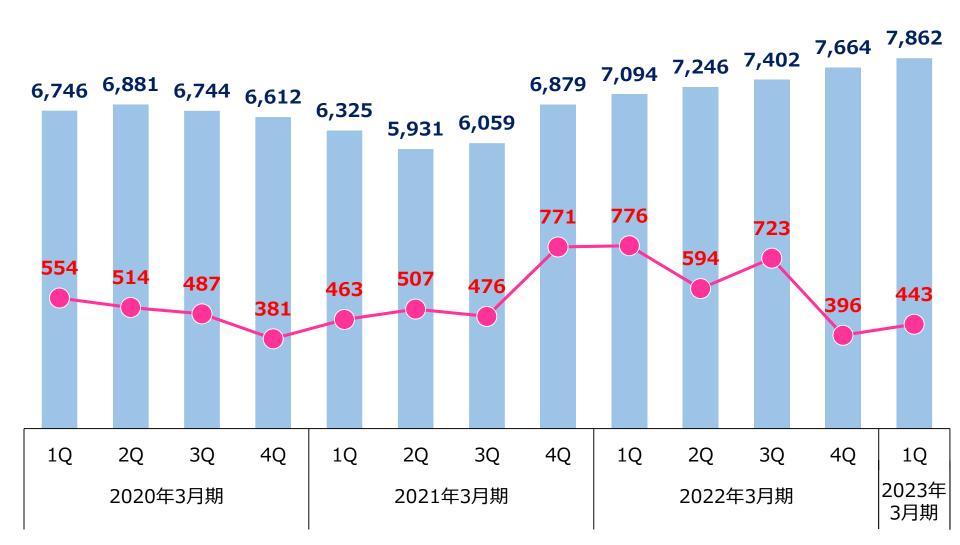
全体として原材料費の高騰による値上げ後追いの影響で増収・減益の見通し 単位:百万円

				1 = 1 = 7313	
2022年3月期		2023年3月期		 前期比	
売上高 29,406		32,000	+2,594	+8.8%	
化学品	24,462	26,505	+2,043	+8.4%	
食品	4,697	5,250	+553	+11.8%	
不動産	247	245	▲ 2	▲0.8%	
営業利益	2,489	2,000	▲ 489	▲19.6%	
化学品	2,326	1,960	▲366	▲ 15.7%	
食品	▲0	▲ 100	▲ 100	_	
不動産	163	140	▲ 23	▲ 14.1%	
経常利益	2,815	2,200	▲ 615	▲21.8%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,929	1,600	▲ 329	▲17.1%	
売上高営業利益率	8.5%	6.3%	▲ 2.2pt	_	



単位:百万円

■ 売上高 -- 営業利益



主要な経営指標等の推移



【連結】

回次		第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
決算年	月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月
売上高	(百万円)	26,393	27,636	26,983	25,194	29,406
経常利益	(百万円)	2,708	1,836	2,141	2,451	2,815
親会社株主に帰属する 当期純利益	(百万円)	1,583	1,176	1,370	1,607	1,929
包括利益	(百万円)	2,116	351	1,410	2,602	1,826
純資産額	(百万円)	41,954	41,746	42,020	43,750	44,889
総資産額	(百万円)	52,205	51,048	50,626	51,984	54,680
1株当たり 純資産額	(円)	5,852.33	5,813.59	6,014.34	6,367.01	6,550.74
1株当たり 当期純利益金額	(円)	228.59	169.77	198.93	242.06	291.13
自己資本比率	(%)	77.7	78.9	79.8	81.2	79.4
自己資本利益率	(%)	4.0	2.9	3.4	3.9	4.5
株価収益率	(倍)	15.3	15.2	12.3	10.5	10.3



参考指標		
配当利回り (会社予想)	3.77%	
PER(会社予想)	9.90倍(連結)	
PBR(実績)	0.36倍(連結)	
EPS(会社予想)	241.4(連結)	2022年10月3日
BPS(実績)	6,569.59(連結)	終値 2,444円
/ V ''' \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	Mymm	3,60 3,00 1/1/1/24
	4	1.90
2017/1 2018/1	2019/1 20	20/1 2021/1 2022/1



<見通しに関する注意事項>

本資料の業績予想・見通しは資料作成時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、将来の計画数値、施策の実現を保証するものではありません。

問合せ先:コーポレート本部 IR担当

TEL: 027-353-1818 (代表)